

東日本海岸調査報告会

～海岸植物、海、そして人～



津波で海岸の植物もきっと流されたと思うかも知れませんが、そんなことは決してなく、今でも元気に生育しています。



日時：2013年2月16日（土）
13：00～15：00

場所：ニコンプラザ仙台

主催：公益財団法人 日本自然保護協会（NACS-J）

協力：株式会社ニコン

参加費：無料 定員：30名

日本自然保護協会では今年度、東日本大震災で津波の被害を受けた地域で、3つの調査を行いました。

◆海岸の植物群落を調査員のみなさんの協力のもと調査し、100ヶ所以上で、震災前の調査データと比較することができました。

報告：由良浩（千葉県立中央博物館）

◆保護すべき重要な植物群落の再調査も行い、群落の状況を確認しました。

報告：朱宮丈晴（日本自然保護協会）

◆そして、各地に暮らす方々と海とのこれまでの関わり、ふれあいについて聞き取り・アンケート調査を行いました。

報告：鬼頭秀一（東京大学）

◆また参加者の皆さんの海との関わりについてお互いを知るワークショップを開催します。

普段、あまり関心をもつことはない海岸の植物、海と人との意外な関わりを知り、今年、新たな視点で海と関わってみませんか？

同会場では東日本調査の結果報告を含む、

NACS-Jが関わってきた海岸に関する展示を行います。

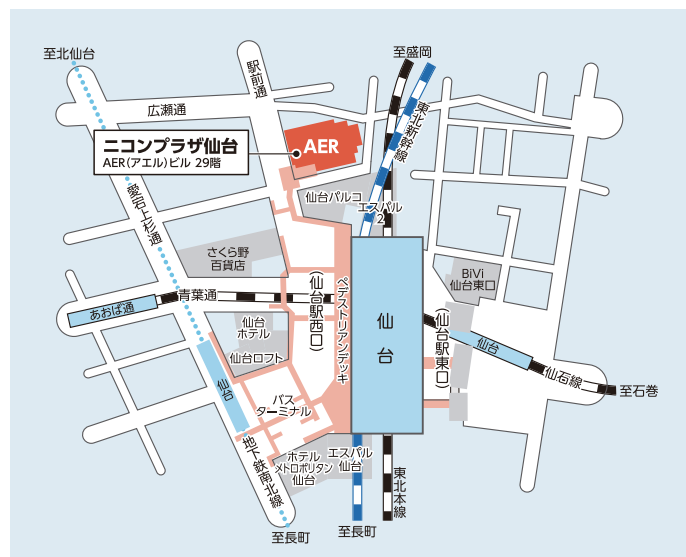
日時：2013年2月6日（水）～20日（水）
（日・祝除く）

9：30～18：00

（ニコンプラザ仙台の業務時間に準じる）

ニコンプラザ仙台

宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER（アエル）ビル29F
JR仙台駅 徒歩2分／地下鉄南北線仙台駅 徒歩5分
TEL：022-715-1490



問い合わせ先・申し込み方法

参加希望イベント、氏名、電話番号、
当会の会員かを下記にお知らせください。

公益財団法人 日本自然保護協会

保全研究部 小此木（おこのぎ）

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

TEL：03-3553-4104 FAX：03-3553-0139

Eメール：kaigan2@nacsj.or.jp



この事業は独立行政法人環境再生保全機構の
地球環境基金特別助成により実施しています。

日本自然保護協会では以下の予定で東日本大震災後に行った調査の報告などを実施予定です。

2月3日(日) 東京

特別セミナー「復興の現場から見てきた人と自然の関わり、自然保護の課題」

- 東日本海岸調査結果報告～海岸の植物は今～ 小此木宏明 (NACS-J 保全研究部)
- 宮城県石巻市北上町の自然・コモンズ・復興 宮内泰介
(北海道大学教授 環境社会学)
- 森は海の恋人～海の民と巨大防潮堤建設について～ 畠山信
(NPO 法人 森は海の恋人 副理事長)
- パネルディスカッション コーディネーター：原慶太郎
(NACS-J 理事/東京情報大学教授 景観生態学)

日時：2013年2月3日(日) 10:00～12:00
場所：清澄公園大正記念館 (東京都江東区清澄 3-3-9)
主催：公益財団法人 日本自然保護協会
参加費：午前の部のみ資料代 500円 (NACS-J 会員は無料)
◆東北の海岸の写真展を同時開催します◆

2月16日(土) 仙台

東日本海岸調査報告会～海、人、そして海岸植物～

オモテ面記載の通り⇒

2月17日(日) 盛岡

植生学会・日本自然保護協会シンポジウム

「岩手の海岸の自然再生に向けて～東日本大震災後の海岸植生の自律的再生と共存のために～」

- 日本の海岸植生とその成り立ち 澤田佳宏
(兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科/淡路景観園芸学校)
- 津波被害により東北地方の海岸植生は破壊されたのか 原正利
(東日本大震災復興プロジェクトチーム)
- 市民調査によって明らかとなった海岸の変化 由良浩 (千葉県立中央博物館)
小此木宏明 (日本自然保護協会)
- 大津波が岩手県の海岸植生・植物にもたらしたもの
島田直明 (岩手県立大学総合政策学部)
鈴木まほろ (岩手県立博物館)
- 三陸復興公園構想 環境省国立公園課
- 海岸植生の保全と再生に向けて必要な配慮 植生学会企画委員会
- パネルディスカッション

日時：2013年2月17日(日) 13:00～16:00
場所：アイーナ いわて県民情報交流センター会議室 803
(岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号)
主催：植生学会・公益財団法人 日本自然保護協会
参加費：無料 定員：150名

3月7日(木) 静岡

第60回日本生態学会静岡大会 自由集会 群落談話会

「仙台平野の海辺の自然を守れるか—復興工事に伴う負の影響の回避、低減に向けて—」

- コメンテーター：平泉秀樹 (ラムサールネットワーク日本)
津田智 (日本生態学会生態系管理委員会)
- 主旨説明：植生学会の調査から 原正利 (千葉中央博)
- 津波被災地における復興工事が仙台湾岸の植生に与える影響
富田瑞樹・原慶太郎 (東京情報大)・平吹喜彦 (東北学院大)
- 津波で攪乱された干潟の生態系サービスの回復に向けて—復興工事の脅威
鈴木孝男 (東北大院・生命科学)
- 市民による海岸植物群落調査の結果から
小此木宏明・朱宮丈晴 (日本自然保護協会)

日時：2013年3月7日(木) 18:00～20:00
場所：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
(静岡県静岡市駿河区池田 79-4)

※生態学会の各種発表は大会への参加登録が必要ですが
自由集会に限ってはどなたでも参加できます。
また日程は未定ですが、ポスターにて「東日本大震災の
津波による海岸植物群落への影響 - 市民調査の結果から -」
という題で調査結果を発表します。
こちらへの参加は大会参加者のみとなります。

問い合わせ先・申し込み方法

参加希望イベント、氏名、電話番号、当会の会員かを下記にお知らせください。
公益財団法人 日本自然保護協会 保全研究部 小此木 (おこのぎ)
〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F
TEL: 03-3553-4104 FAX: 03-3553-0139 kaigan2@nacsj.or.jp

公益財団法人 日本自然保護協会 (NACS-J)